

さかえ

第7号

＜編集・発行年月日＞  
平成24年10月20日  
栄区役所福祉保健課  
栄区社会福祉協議会

# つながる通信

## 交流の場づくり

平成24年度

さかえ・ふれあい運動会



今年も、9月29日(土)桂台中学校で「さかえ・ふれあい運動会」が開催されました。障害のある方々、各種ボランティア団体、区内中学校の生徒など総勢600名を超える方にご参加いただき、みんなで一緒に玉入れや綱引き、パン食い競争などを行いました。

ご近所であいさつを交わしたり、玄関前で立ち話しをしたりする機会はありますか？  
いろんな世代の人と知り合う機会はありますか？

「さかえ・つながるプラン」では、顔の見える関係づくりを目指して、様々な取組をしています。

現在、地域の中でも日頃から顔の見える関係をつくるきっかけの一つとして、“交流の場づくり”が広がってきています。今回は地域の中で行われている“交流の場づくり”について、ご紹介します。



～ 障害がある人もない人も地域で支えあうまちに ～



さかえ・ふれあい運動会は、競技を通して障害がある人とない人がお互いに助け合い、心のふれあいをもつ場です。区内のボランティア団体や学校、当事者団体、障害者関係施設、民生委員児童委員などで構成される「さかえ・ふれあい交流事業実行委員会」が主催しています。今回参加された方の「声」をご紹介します。

運動会を通して色々な人と交流できるようにとお話しをもらったのが参加したきっかけです。色々な競技に参加でき、また中学生のひと色々な話ができて楽しかったです。僕は今回の経験を生かし、常連客を作って安定した経営ができるようになりたいと思いました。

また、パン食い競争で使われたパンは洋光台にある「杜のパン屋さん」と合計で250個作りました。毎年ふれあい運動会で、SELPのパンが出ることを楽しみにしている方もいるのでうれしいです。今後は買いにも来てください。待ってます。



高橋 正樹 さん (SELP・杜)

私にとっては3回目であり、最後のふれあい運動会でもありました。緊張しながら車いすを押した1年生。障害のある方との会話に苦労した2年生。そして、3年生で助け合うことの素晴らしさを学びました。フォークダンスで足が不自由な方が障害のある方に合わせて踊っているのを見た時はとても心が温まりました。

私たちとの交流だけでなくこのような支え合いがあるから参加者の幸せそうな笑顔が毎年見られるのだと思います。本当にありがとうございました。



神保 花葉 さん (桂台中学校)

第1回「ふれあい運動会」は平成7年11月11日に本郷中学校で開催されました。今回は何と18回目になります。1回も中止になったことはなく、たんぼぼ（ボランティアグループ）も継続して参加させていただいています。当時14歳前後だった中学生はすでに30歳を超えていると思うと感慨深いものがあります。福祉施設や当事者団体のメンバーも当然ながら入れ代わったり年齢を重ねたりしていますが、かけがえのない時間を共有できたことは間違いありません。

準備のプロセスを含めて様々な分野の皆様と交流できるこのような事業はこれからも大切にしていきたいと思っています。今回も大いに楽しみました。関係の皆様ありがとうございました。



大森 眞由美さん(さかえ・ふれあい交流事業実行委員)

当日、秋の太陽の下、声援に背中を押されながら参加者は爽やかな汗を流していました。一緒に競技をすることで楽しい時間を共有し、お互いを理解する機会となったのではないのでしょうか。

この「さかえ・ふれあい運動会」が、障害のある人とない人の助け合い支え合いの輪の広がるきっかけになることを願っています。そして、この日限りではなく、このような交流の機会が身近な地域で日常的に行われることが大切です。

ぜひ地域の人同士のつながりを深める活動や交流の場に参加してみませんか。次に笠間地区で行われているサロンとおした交流の場づくりをご紹介します。



～ 住民主役の継続可能なサロンをめざして ～

笠間は、半世紀前より田畑を住宅地に造成して発展、戸建や集合住宅が混在した街です。笠間地区では、“交流の場づくり”を一つのテーマに、“サロン”開催に取り組んでいます。今年6月から3つのサロンが始まりました。

Aブロック

スタート時は、サロンの周知のため映画「青い山脈」を上映しました。現在は、毎月、囲碁や将棋、手芸などの趣味の集まりを開催しています。



通り町町内会館

Bブロック

普段からの顔の見える付き合いを目指し、6月、9月は防災をテーマに集まり、話し合いをしました。防災のDVDを鑑賞し勉強したり、耐熱ビニールを使ってご飯を炊き試食したりしています。



ゆうわ館

「やすらぎカフェ〇〇」という名称で、町内会館や集合住宅の集会所など、会場を移動しながら開催しています。食事会や健康に関する講座など、その会場で開きやすい内容で行っています。



6月: 田立町内会館

Cブロック

サロンを始めるにあたり、地域の現状を確認し、その上で必要なのはどんな“場”なのかを地域の方々で話し合いました。全ての町内会でサロンの会場を確保できないため、なかなかサロンづくりが進みませんでした。そこで、笠間地区を3ブロックに分け、ブロックに1か所ずつそれぞれに特徴あるサロンができました。どのサロンも居場所、仲間づくりの場、出会いの場になることを目指しています。

“サロン”って何？

“サロン”は、身近な地域でいろんな人が気軽に集える“交流の場”のことだよ。

サロンに参加すると…

- ① ロコミで地域の情報が入る！
- ② 外出の機会が増えて、生活にメリハリが生まれる！
- ③ 近所に知り合いが増えて、顔の見える関係ができる！

いざという時の助け合いにもつながるね！！



～あなたも顔の見える関係づくりをとおした「つながり」や「支え合い」に関わってみませんか？～



# ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点（以下、拠点）では、拠点を利用している福祉保健活動団体と障害者施設等が協力し、毎年1回「ようこそであい広場」というお祭りを開催しています。地域の方との交流や、地域活動団体や栄区内の障害者施設をより多くの方に知ってもらうことを目的としています。

参加団体同士が協力し企画や準備も行います。内容は、リサイクル品や手作り品販売、食べ物の模擬店、パソコン体験コーナー、福引抽選会、さかな釣りゲームなど楽しいプログラムが盛りだくさん！開始時間前から行列ができるほどの人気ぶりで、大勢の方が足を運んでくださいます。

今年も下記の日程で開催しますので、ぜひ遊びに来てください！！

※福祉保健活動拠点とは、福祉保健の活動をしているボランティアグループや障害者グループ等が活動している場です。



ようこそ・であい広場  
マスコットキャラクター「見返りうさぎ」

日時：平成25年3月2日(土)  
10時～14時  
場所：栄区福祉保健活動拠点  
(ピアハッピー栄)



栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」は、栄区がより暮らしやすい街となるよう策定したものです。7つの基本方針にそって、地域、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザがそれぞれの取り組みをすすめています。

栄区地域福祉保健計画の冊子は、栄区役所福祉保健課（区役所新館3階304番窓口）のほか、栄区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザなどで配布しています。本冊子は区役所ホームページからもお覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/fukushi/2chifuku.html>

※ 音声訳ボランティアの会 COSMOS の協力により、音声訳版を作成しました。栄区社会福祉協議会へお問い合わせください。



## ◆ さかえつながる通信についてのお問い合わせは・・・

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6962

Fax：895-1759

横浜市栄区社会福祉協議会

電話：894-8521

Fax：892-8974